

プラップジャパン、企業のダイバーシティ&インクルージョンを評価する 「D&I AWARD 2021」において最高位ランクに認定



PR発想であらゆるコミュニケーション活動を支援する、株式会社プラップジャパン(本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木勇夫、以下 プラップジャパン)は、株式会社JobRainbow(本社：東京都渋谷区、代表取締役：星 賢人)が主催する「D&I Award 2021」において、最高位ランクである「Best Workplace for Diversity & Inclusion」の認定を受けました。

「D&I Award 2021」は、企業のダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の取り組みを評価する認定制度で、今回初めて開催されました。「ジェンダーギャップ」「育児/介護」「障がい」「多文化共生」「LGBT」の5つのテーマにおいて100項目で採点・評価し、4つのランクに認定するものです。「D&Iに取り組む企業の後押し」「D&Iのあり方のアップデート」「D&I推進の担い手を拡大」の3つを目的とし、“D&Iがあたりまえの社会”となることを目指している取り組みです。第1回目となる今回は、259社(グループ連盟を含む)からのエントリーがありました。

プラップジャパンは、最高位ランクである「Best Workplace for Diversity & Inclusion」に認定されました。このランクは、高い水準でD&I推進に取り組むD&I先進カンパニーで、D&Iの企業文化の醸成はもちろん、社員一人ひとりが積極的にD&Iに取り組んでいること。また、サービスや事業、企業組織のあらゆる側面でD&Iの理念が反映され、社外にも波及していることが認定を受ける目安とされています。

■プラップジャパンのD&Iにおける主な取り組み

- ・ 「[ダイバーシティ宣言](#)」としてプラップジャパンのダイバーシティ&インクルージョンの方針と取り組みをコーポレートサイトのトップページに公開
- ・ 時間短縮勤務、時間単位での年次有給休暇取得、サテライトオフィス利用・在宅勤務を可能とするリモートワーク環境完備など、柔軟な働き方を促進
- ・ 子育て中の女性PRコンサルタントが多いことを活かして「ママ消費者視点」でのコンサルティングを提供できる専門チーム「PRAP MAMA's Eye Labo」を運営
- ・ LGBTなどのセクシュアル・マイノリティに関連するコミュニケーション上の課題を解決するためのプロジェクト「虹色PRパートナー」をNPO法人とともに展開

プラップジャパンは、D&Iの施策も含め、企業の社会的責任を果たす持続可能な取り組みに関するコミュニケーション上の課題を支援する「プラップ・サステナビリティ&SDGs ラボ」を立ち上げました。子会社含めプラップグループとして、企業のサステナビリティに関する取り組みの情報発信についてのコンサルティングを提供しています。今後も誰もが自分らしくいきいきと働ける環境整備を推進するとともに、“誰ひとり取り残されない”持続可能な社会の実現に向け、コミュニケーションの力で貢献できるよう積極的な取り組みを行ってまいります。

<ブラップジャパンについて>

株式会社ブラップジャパンは、PR発想で企業や団体のコミュニケーション活動を包括的にサポートする、コミュニケーションコンサルティング・カンパニーです。1970年に総合PR会社として創業して以来、多様な価値観の世の中において「あらゆる関係性を良好にする」というミッションを軸にビジネスの領域を広げてきました。日本・中国・東南アジアに拠点を持ち、コミュニケーション分野に専門性を持った複数のグループ会社と連携しながら、これまでの「当たり前」にとらわれず、社会の視野を広げるコミュニケーションで課題を解決しています。

URL：<http://www.prap.co.jp/>

<この件に関するお問い合わせ先>

株式会社ブラップジャパン 経営企画室 広報担当

Email: ir_info@ml.prap.co.jp